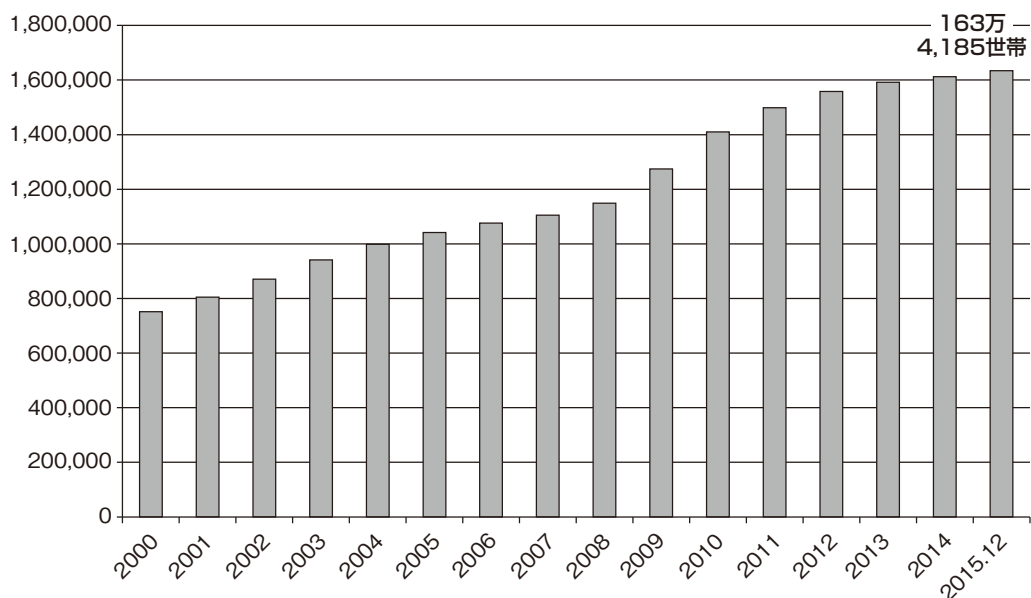


被保護世帯数の推移



2016年3月、厚生労働省は2015年12月に生活保護を受けた世帯が163万4,185世帯であり、過去最多となったことを報告した。このうち高齢者世帯が80万5,723世帯（全体の49.6%）、傷病者・障害者世帯が44万4,021世帯（同27.3%）と、実に8割近くを占める。これらには就労自体が難しい世帯も多いと思われる。高齢者世帯において年金のみで生活できない単身者の世帯も増えており、今後も高齢化とともに被保護世帯の増加は確実であると予想される。

厚生労働省「被保護者調査」より作成。2000～2014年は月平均。